

# 農林水産商工常任委員会資料

(平成23年1月21日)

## 項目

- 1 Jリーグクラブに必要な施設整備等について  
【経済通商総室（企画調査室）】…（別紙）
- 2 商工業者に対する平成22年年末豪雪対策について  
【経済通商総室（経営支援室）】…1
- 3 「とっとり高度人財『燦然』プラン」に次ぐ平成23年度以降の地域雇用  
創造推進事業について  
【雇用人材総室（人材育成確保室）】…2
- 4 とっとり産業人材育成支援サイトの開設について  
【雇用人材総室（人材育成確保室）】…4
- 5 年末の総合相談窓口の開設結果について  
【雇用人材総室（労働政策室）、経済通商総室（経営支援室）】…5
- 6 株式会社デュエラの境港市進出に伴う協定書の調印について  
【産業振興総室（企業立地推進室）】…6
- 7 株式会社ナノオプトニクス・エナジーの事業計画について  
【産業振興総室（企業立地推進室）】…7
- 8 国の「平成22年度低炭素型雇用創出産業立地推進事業」の採択について  
【産業振興総室（企業立地推進室）】…8
- 9 とっとりバイオフィロンティアに係る指定管理候補者審査委員会の審査結果に  
ついて  
【産業振興総室（産学金官連携室）】…9
- 10 鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について  
【市場開拓局市場開拓課】…11

商 工 労 働 部

# 商工業者に対する平成22年年末豪雪対策について

平成23年1月21日  
経済通商総室  
経営支援室

平成22年12月31日からの県西部を中心とした豪雪により、施設の損壊やキャンセル等の売上減の影響を受けた商工業者の資金繰りを支援するため、「平成22年度雪害対策特別資金」を創設するとともに、「企業資金繰支援特別融資」4資金の要綱改正を行い、対象者及び特別利率適用要件に「平成22年度雪害対策枠」を新設します。

## 1 「平成22年度雪害対策特別資金」の創設 ～復旧に必要なニューマネーの供給～

### (1) 資金概要

- 融資対象者：平成22年12月31日からの豪雪により影響を受けた者で、次のいずれかに該当する者
  - ・豪雪により施設・設備の損壊等の影響を受けた者
  - ・直近1か月の売上高、売上総利益率又は営業利益率が前年同期と比較して3%以上減少
  - ・直近1か月の営業利益がマイナス
- 融資限度額：5,000万円
- 使途及び期間：運転・設備10年（うち据置2年）以内
- 融 資 利 率：年1.43%（変動金利）※企業自立サポート融資の最優遇金利
- 保 証 料 率：1.08%～0.45%（9段階）

### (2) 融資枠

10億円（※既存制度融資の融資枠の残額により対応）

## 2 「企業資金繰支援特別融資」に「平成22年度雪害対策枠」の新設 ～収益減に対する返済負担軽減～

### (1) 「企業資金繰支援特別融資」の対象資金

- |                                 |
|---------------------------------|
| 借 換 資 金：経営安定支援借換資金、旧制度融資等借換特別資金 |
| 小規模・零細企業：中小企業小口融資、小規模事業者融資      |

### (2) 「平成22年度雪害対策枠」の概要

- 借換2資金に「雪害対策」に係る対象者要件を追加  
平成22年12月31日からの豪雪により影響を受けた者で、次のいずれかを満たしている者
  - ・豪雪により施設・設備の損壊等の被害を受けた者
  - ・豪雪により直近1か月の売上高、営業利益、売上総利益率又は営業利益率が前年同期と比較して減少※中小企業小口融資及び小規模事業者融資の対象者要件は、従業員数に係る要件のみのため改正不要。
- 特に大きな影響を受けている者に対する「特別利率」に「雪害対策」に係る適用要件を追加  
平成22年12月31日からの豪雪により影響を受けた者で、次のいずれかに該当する者
  - ・豪雪により施設・設備の損壊等の被害を受けた者
  - ・直近1か月の売上高、売上総利益率又は営業利益率が前年同期と比較して3%以上減少
  - ・直近1か月の営業利益がマイナス※通常利率：年1.66% → 特別利率：年1.43%  
なお、旧制度融資等借換特別資金は、通常利率：年1.96% → 特別利率：年1.68%

### (3) 融資枠

10億円（※既存制度融資の融資枠の残額により対応）

## 3 実施時期 平成23年1月21日から平成23年3月31日申込みまで

# 「とっとり高度人財『燦然』プラン」に次ぐ平成23年度以降の 地域雇用創造推進事業について

平成23年1月21日  
雇用人材総室  
人材育成確保室

平成20年度から鳥取県地域雇用創造協議会が実施してきた「とっとり高度人財『燦然』プラン」が今年度で終了するが、平成23年度以降の事業について国に再応募することが可能なため、新たな事業構想を策定し応募します。

## 1 国の募集要件（見込み）

- (1) 最近3年間及び最近1年間の有効求人倍率が全国平均以下又は0.67倍以下。
- (2) 再応募の内容が、現在の事業の経験・成果を踏まえた新しい内容であること。
- (3) 新規応募を優先し、枠が余れば再応募を採択（新規募集枠45地域）。

## 2 次期事業構想（案）の概要

### (1) 基本的考え方

- ① 鳥取市を含んだ全県域を対象とする。（現在の「とっとり高度人財『燦然』プラン」は鳥取市を含まない。）
- ② 「とっとり高度人財『燦然』プラン」の成果を踏まえて、効果的な事業を継続するとともに鳥取県経済成長戦略分野で必要とされる人材育成等を実施。

### (2) 事業項目

	次期事業	参考（とっとり高度人財『燦然』プラン）
雇用拡大	① 「人財ナビゲーター」派遣事業 ② トップセミナー開催事業 ③ （新）エンジニア人材育成事業 （品質工学セミナー、FPD関連技術セミナー、IT高度技術セミナー、再利用エネルギー等技術セミナー） ④ （新）海外取引支援研修	① 「人財ナビゲーター」派遣事業 ② トップセミナー開催事業 ③ 即戦力人材確保事業
人材育成	① ビジネススタッフ人材育成研修 （（新）観光人材育成コース、（新）営業・販売コース、パソコンコース、簿記・会計コース、コールスタッフコース） ② 製造技術人材育成研修 （製造部門コース、EV製造コース） ③ （新）創業・ベンチャー人材育成研修	① ビジネススタッフ育成研修 （ビジネスコース、会計コース、パソコンコース、コールスタッフコース、WEBコース） ② 生産技術オペレーター育成研修 ③ テクニカルサポート人材育成研修 ④ 品質工学人材育成研修 ⑤ アパレルオペレーター育成研修 ⑥ IT高度技術人材育成研修
就職促進	① IJUターン就職フェア実施事業	① UJIターン就職フェア ② UJIターン・県内求職者・人材育成研修受講者企業見学会

※次期事業は現在検討中であり、今後追加する可能性があります。

【参考】「とっとり高度人財『燦然』プラン」の実施状況 別紙のとおり

## 3 今後のスケジュール（予定）

- ・ 23年2月 （新）鳥取県地域雇用創造協議会総会で議決後、事業構想書等を国に提出
- ・ " 5月 採択地域の内定
- ・ " 7月 事業開始（～H26年3月）

## ※鳥取県地域雇用創造協議会について

現在の協議会は次の団体で構成しているが、次期構想は鳥取市を含めた新たな協議会を設立。  
 県、県教育委員会、市町村（鳥取市を除く。）、鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校、鳥取情報経理学院、日本海情報ビジネス専門学校、鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、鳥取県産業技術センター、とっとり地域連携・総合研究センター、鳥取県産業振興機構、日本貿易振興機構鳥取貿易情報センター、ふるさと鳥取県定住機構、鳥取県情報産業協会、雇用・能力開発機構鳥取センター、鳥取県職業能力開発協会

(別紙)

## とっとり高度人財「燦然」プランの実施状況

- (1) 雇用拡大メニューは、事業主向けの事業。12月末現在で計画に対し50%弱の達成率。  
 (2) 人材育成メニューは、主に求職者向けの事業。12月末現在で計画に対し、参加者は60%を超えているが、就職者は50%弱の達成率。  
 (3) 就職促進メニューは、求職者と求人企業のマッチング事業。12月末現在で計画に対し、参加者は50%弱であるが就職者は90%を超える達成率。

⇒ 22年度事業を実施中であり、達成率は今後増加していく見込み。

(平成22年度の数値は12月末現在)

区分	事業・研修名(略称)	20~21年度実績		22年度実績(暫定)		22年度までの達成率(暫定)	
		参加 (計画数)	就職 (計画数)	参加 (計画数)	就職 (計画数)	参加	就職
I 雇用拡大メニュー	(1) 即戦力人材確保事業	236社 (50社)	-	132社 (50社)	-	368.0%	-
	(2) トップセミナー開催事業	225社 (700社)	-	90社 (600社)	-	24.2%	-
	(3) 人財ナビゲーター派遣事業	13社 (50社)	-	32社 (50社)	-	45.0%	-
	計	474社 (800社)	-	254社 (700社)	-	48.5%	-
II 人材育成メニュー	(1) ビジネススタッフ育成研修	256人 (272人)	162人 (136人)	402人 (500人)	96人 (250人)	85.2%	66.8%
	(2) テクニカルサポート人材育成研修	44人 (86人)	29人 (40人)	38人 (90人)	8人 (49人)	46.6%	41.6%
	(3) 品質工学人材育成研修	16人 (24人)	1人 (12人)	5人 (20人)	0人 (10人)	47.7%	4.5%
	(4) FPD関連エンジニア育成研修	22人 (21人)	6人 (10人)	8人 (16人)	3人 (8人)	81.1%	50.0%
	(5) アパレルオペレーター育成研修	17人 (72人)	8人 (34人)	28人 (45人)	9人 (22人)	38.5%	30.4%
	(6) 生産技術オペレーター育成研修	100人 (220人)	53人 (110人)	48人 (212人)	10人 (106人)	34.3%	29.2%
	(7) IT高度技術人材育成研修	115人 (120人)	40人 (60人)	16人 (80人)	0人 (40人)	65.5%	40.0%
	計	570人 (815人)	299人 (402人)	545人 (963人)	126人 (485人)	62.7%	47.9%
III 就職促進メニュー	(1) UJIターン就職フェア	284人 (140人)	29人 (14人)	85人 (150人)	4人 (10人)	127.2%	137.5%
	(2) UJIターン企業見学会	18人 (28人)	7人 (5人)	6人 (20人)	3人 (4人)	50.0%	111.1%
	(3) 県内求職者企業見学会	26人 (60人)	10人 (15人)	2人 (40人)	2人 (10人)	28.0%	48.0%
	(4) 人材育成研修企業見学会・就職フェア	33人 (300人)	-	4人 (220人)	-	7.1%	-
	計	361人 (528人)	46人 (34人)	97人 (430人)	9人 (24人)	47.8%	94.8%
II人材育成+III就職促進の計		931人 (1,343人)	345人 (436人)	642人 (1,393人)	135人 (509人)	57.5%	50.8%

# とっとり産業人材育成支援サイトの開設について

平成23年1月21日  
雇用人材総室  
人材育成確保室

県内企業の人材育成を促進するため、教育機関、経済団体及び行政等が実施する社員向けのセミナー・研修等に関する情報をワンストップで提供するウェブサイトを独立したホームページとして、平成23年2月下旬に開設します。

## 1 サイトの名称

とっとり産業人材育成支援サイト（愛称「とっとりSTEP」）

※STEP・・・Seminars, Training and Events for Personnel trainingの頭文字と知識や技術のステップアップをイメージ。

## 2 サイトの運営等

- ・ふるさと雇用再生特別交付金事業として（財）鳥取県産業振興機構に委託して開発・管理。
- ・サイトの運営は、セミナー・研修等を主催する県内関係機関・団体に構成する「とっとり産業人材育成支援ネットワーク」（平成22年6月設立）で実施。

<ネットワークメンバー>

鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子高専、各商工会議所、商工会連合会、中小企業団体中央会、雇用・能力開発機構、産業技術センター、職業能力開発協会、高等技術専門校、産業振興機構、県

## 3 サイトの主な特徴

- セミナー・研修情報を地域又は分野、キーワード等によってクイック検索することが可能。
- 検索結果を一覧表示・カレンダー表示することが可能。
- ネットワークメンバーが研修等の情報を直接入力することにより、常に最新の情報を掲載。

## 4 サイトの主な内容

項目	内容
セミナー・研修情報	県内外で実施される人材育成に関するセミナー・研修の情報を掲載
助成金情報	国・県等の事業主向けの助成制度情報を掲載
資格・検定情報	技能検定等の情報を掲載
試験・測定機器情報	産業技術センター等が保有する試験・測定機器情報を掲載

<アクセス方法> URL : step.toriton.jp キーワード検索 :

サイトのトップ画面

## 年末の総合相談窓口の開設結果について

平成23年1月21日  
福祉保健課  
くらしの安心局住宅政策課  
雇用人材総室労働政策室  
経済通商総室経営支援室

求職中の生活に困窮している方及び資金繰りで悩んでいる中小企業の方へ、行政機関等が業務を停止している年末の期間に、鳥取労働局、鳥取県社会福祉協議会と共催で「総合相談窓口」を開設しましたので、その結果を報告します。

### 1 日 時

平成22年12月29日(水)～30日(木) 8:30～17:15

※ 昨年同様2日間実施

### 2 場 所

県内3カ所(県庁・中部総合事務所・西部総合事務所)

### 3 相談件数 延べ26件(18人)

	相談者数 (人)	相談内容(件)						計
		職業	生活福祉資金等	生活保護	住宅	制度融資	その他	
県庁	12	3	4	5	2	3	1	18
中部総合事務所	1			1				1
西部総合事務所	5	2	1	3	1			7
計	18	5	5	9	3	3	1	26

### 4 主な相談内容

- 生活保護制度の内容に関する相談
- 仕事がなかなか見つからず、今後の生活に関する相談
- 資金繰りに関する相談

※生活福祉資金貸付に関しては、ハローワーク等からの紹介で、12月中旬以降28日までに滑り込みで19件余りの申請があったため、昨年度に比べて相談が減少したものと推測される。

#### <参考> (平成21年度相談内訳別件数)

	相談者数 (人)	相談内容(件)					計
		職業	生活福祉資金等	生活保護	住宅	その他	
県庁	17	4	11	5	3	3	26
中部総合事務所	2	1		1			2
西部総合事務所	15	5	13	5	1		24
計	34	10	24	11	4	3	52

# 株式会社デュエラの境港市進出に伴う協定書の調印について

平成23年1月21日  
産業振興総室  
企業立地推進室

株式会社デュエラ（本社：京都市）が、LED液晶TVのバックライト等に使用される高機能プラスチックシート（高拡散反射シート）の生産拠点の整備を境港市で行うこととなり、これを支援する鳥取県及び境港市との間で下記のとおり協定書の調印を行いました。

## 記

### 1 企業の概要

- (1) 名称 株式会社デュエラ
- (2) 代表者 代表取締役 西林利弥
- (3) 住所 京都市西京区御陵大原1番地36 京大桂ベンチャープラザ
- (4) 設立 平成16年7月
- (5) 資本金 48,000千円
- (6) 従業員数 5名
- (7) 売上高 136,000千円（平成22年6月期）
- (8) 事業内容 高機能プラスチックシートの開発・製造・販売

### 2 立地計画の概要

境港市に子会社を設立し、LED液晶TV用バックライトの高拡散反射シートの量産工場を建設

新会社名	株式会社DSコーポレーション（設立登記済）	※DSはデュエラ境港の略
資本金	1,000千円（9,900千円に増資予定）	
事業内容	高拡散反射シートの製造・販売	
立地場所	境港市西工業団地内	
〔1期分の計画〕		
投資額	約10億3千万円	
従業員数	約30名（第3期計画まで 約100名）	
生産能力	月産75万㎡	
売上予測	約26億円（平成24年5月期）	
操業予定	平成23年7月試験運転開始、10月量産開始	
その他	・韓国サムソン社及び国内大手メーカーの海外向け液晶TVに採用 ・九州の企業へライセンス供与し平成22年6月から生産・出荷を開始しているが、ラインの能力が限界に達する見込み	

### 3 調印式の時期等

- (1) 日時 1月12日（水）午後1時～2時
- (2) 場所 知事公邸 第一応接室
- (3) 出席者 株式会社デュエラ 代表取締役 西林利弥  
鳥取県 副知事 藤井喜臣  
境港市 市長 中村勝治



## 株式会社ナノオプトニクス・エナジーの事業計画について

平成23年1月21日  
産業振興総室  
企業立地推進室

株式会社ナノオプトニクス・エナジーは、平成22年3月29日、米子で電気自動車（EV）の開発・製造を行うことを発表し、現在は、今年春の操業開始に向け準備を進めているところです。

### 1 EV生産計画

大きく分けて、次の2つのラインアップで商品開発・生産を開始する。  
平成24年度に量産開始予定

#### (1) NANOモデル（オリジナル車）【e-モビリティ】

- 従来の車のイメージではなく、住民の地域内移動を意識した次世代コミュニティカー
- 今年の東京モーターショー（12月、東京ビッグサイトで開催）の「Smart Mobility City 2011」で1号車を発表予定

#### (2) SIMモデル

- SIM-Driveの試作車をベースにした中高級車種
- インホイールモーターなどSIM-Driveが蓄積してきた技術の商品化

※SIM-Driveとの関係

- ・ナノ社と慶応義塾大学発のベンチャー企業(株)SIM-Driveとは、相互に代表者が役員となっており、ナノ社は(株)SIM-Driveへ出資している関係にある。
- ・ナノ社は、(株)SIM-Driveが行う電気自動車の先行開発車共同研究事業に参加しており、鳥取県もチームを組んで参加している。

### 2 現在の体制

#### (1) 主要人材

担当	氏名	経歴
デザイン	和田 智 氏	日産・アウディチーフデザイナー
エンジニアリング	千葉一雄 氏	日本初の量産EV、日産「Hyper mini」のチーフエンジニアで開発責任者
認証・認可・特許	太宰忠義 氏	日産等での認証・許可・特許の責任者
生産技術	岡澤秀明 氏	トヨタ車体生産技術責任者 プリウス等のライン開発責任者
工場の改修設計	寺澤任弘 氏	一級建築士

#### (2) 米子工場の計画

- ①現在、米子工場は工場長以下7名体制（今後の採用計画は現在調整中）
- ②今年3月頃に生産ラインの設計を終え、その後設備導入など稼働準備に取り掛かる。

### 3 その他の取り組み

#### (1) ガイナーレ・ソーラープロジェクト

ガイナレ鳥取の支援を組み込んだ太陽光発電システム（住宅用、産業用）の製造、販売に着手し、11月から受注開始している。

#### (2) 工場内でのマイクログリッドの構築

米子工場内にメガソーラーを設置し、太陽光発電による電力等のエネルギーを効率よく管理・制御する「マイクログリッド」を構築する。また、次世代EVを生産し地域へ普及させるとともに、「マイクログリッド」を基盤として、EV充電スタンドの情報を家庭や走行中のEVユーザーへ提供するなど、地域トータルでの省エネのサポートを目指す。

※マイクログリッド

エネルギー供給源と消費施設を持つ小規模なエネルギー・ネットワーク

#### 参考：立地計画概要

- 立地場所：米子市上福原1383（旧JT米子工場）
- 操業開始：平成23年春（予定）
- 雇用計画：約800名（5年計画）
- 設備計画：約230億円（5年計画）
- 売上目標：約1,000億円（H27年度）



## 国の「平成22年度低炭素型雇用創出産業立地推進事業」の採択について

平成23年1月21日  
産業振興総室  
企業立地推進室

企業立地事業補助金について、国の「低炭素型雇用創出産業立地推進事業費補助金」の交付決定を受けたものに対する加算措置を創設したところですが、経済産業省から平成22年度の事業採択について発表（平成22年12月27日付）がありました。

### 1 応募・採択の状況

	応募		採択	
	全国	鳥取県	全国	鳥取県
エコカー関連		1	76	1
リチウムイオン電池関連			33	
LED関連		3	18	
太陽光発電関連			12	
その他			14	
計	285	4	153	1

※ 応募期間：平成22年9月30日～11月18日

### 2 鳥取県内での採択案件

(1) 企業名

日本セラミック株式会社（鳥取市）

(2) 事業内容

電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車用電流センサの生産設備の設置

### 3 県の補助金加算について

(1) 制度概要…H22年9月補正創設

企業立地事業補助金の交付対象事業のうち、国の「低炭素型雇用創出産業立地推進事業費補助金」の交付決定を受けたものについて補助金を加算

〔 補助額：投下固定資産額のうち、国補助対象経費の5%  
限度額：10億円 〕

(2) 日本セラミック株式会社への補助

県への事業認定申請について、日本セラミック株式会社が検討中

#### 《参考》 低炭素型雇用創出産業立地推進事業の概要

① 制度概要

将来の大きな成長と雇用創出が期待できる「グリーン産業」（エコカー、リチウムイオン電池、LEDなどの環境関連技術分野）の国内での工場立地を支援する事業

② 補助率

中小企業1/2、大企業1/3（上限：150億円）

③ 予算額

1,100億円（22年度予備費）

# とっとりバイオフロンティアに係る指定管理候補者審査委員会の審査結果について

平成23年1月21日  
産業振興総室  
産学金官連携室

とっとりバイオフロンティア（以下「バイオフロンティア」という。）の指定管理候補者について、鳥取県商工労働部指定管理候補者審査委員会（以下「審査委員会」という。）で審査した結果は次のとおりでした。

## 1 指定管理候補者（指名）

財団法人鳥取県産業振興機構（鳥取市若葉台南七丁目5番1号） 理事長 かねだ あきら 金田 昭

## 2 指定期間 平成23年4月1日から平成26年3月31日まで（3年間）

## 3 委託料の額

197,555千円（債務負担行為額 198,993千円）

〔参考〕単年度委託料の額

平成23年度 43,636千円  
平成24年度 77,024千円  
平成25年度 76,895千円

## 4 審査結果

鳥取県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例第5条の基準に基づき総合的に審査した結果、指定管理候補者として適当であると認める。

## 5 審査の経緯

### (1) 審査委員

氏名	所属等
<small>しみず かつひこ</small> 清水 克彦（委員長）	鳥取大学産学・地域連携推進機構 准教授
<small>やまね きとみ</small> 山根 里美（副委員長）	税理士
<small>ながえ もとこ</small> 長栄 素子	境港商工会議所女性会 会長
<small>いだ まさみ</small> 井田 正己	鳥取県衛生環境研究所保健衛生室 室長
<small>おかむら せいじ</small> 岡村 整諮	鳥取県商工労働部筆頭総室長

### (2) 開催経緯

- ア 第1回審査委員会：平成22年11月12日（金）  
指定管理者制度及びバイオフロンティアの概要説明、審査要項・審査項目等の審議
- イ 第2回審査委員会：平成22年12月24日（金）  
面接審査の実施後、審査基準に照らし審議

### (3) 審査結果（面接審査及び書類審査）

	配点	(財)鳥取県産業振興機構
審査基準1	適/不適	適
審査基準2	50	40.6
審査基準3	20	13.1
審査基準4	30	21.2
合計	100	74.9

(注) 点数は審査会出席委員5名の平均

## 主な審査項目に対する委員からの主な意見等

### ○審査基準1【施設の平等な利用を確保するのに十分なものであること】

- ・施設の平等な利用を確保できるものであった。

### ○審査基準2【施設の効用を最大限に発揮させるものであること】

- ・計画全体としては評価できる。具体的な説明が乏しい点があったが運営されるにつれて改善されると思う。
- ・これからのバイオ産業のイノベーションに期待する。
- ・責任を持って事故・事件の防止措置、緊急時の対応をして欲しい。

### ○審査基準3【管理に係る経費の効率化が図られるものであること】

- ・新しい施設であり、限られた予算における管理運営は評価できる。

### ○審査基準4【管理を安定して行うために必要な人員及び財政的基礎を有しており、又は確保できる見込みがあること】

- ・財政基盤は安定している。

## 6 指定管理候補者の事業計画の概要

### (1) 開館時間・休館日

開館時間 9:00から17:00まで

休館日 日曜日、土曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日から1月3日まで）

開館時間外及び休館日の利用について必要と認める場合は事前申請により利用を許可する。

### (2) 利用料金等

#### ア 施設の利用

貸実験室等：1㎡当たり1月につき1,400円 等

#### イ 機器の利用

1機器：1時間につき100円、複数機器：1日につき3,000円 等

#### ウ 減免事項

離職者が創業のための研究開発等に利用する場合 2分の1に減免 等

### (3) サービスの向上策と利用促進に向けた取組み

- ・実験分析機器の使用に関するマニュアルの作成や使用上のサポート
- ・企業と大学、研究機関との共同研究の推進に向けたコーディネート
- ・各種研究資金の活用や知的財産に関する相談受付
- ・バイオ関連情報の収集、利用者への情報提供
- ・利用者アンケートの実施、利用者のニーズに対応したサービス提供
- ・接遇研修や専門研修の受講による職員の資質向上
- ・関連企業情報を収集し、企業訪問等により入居促進
- ・全国的な関係学会やシンポジウム等での施設の周知による新たな入居利用者等の開拓
- ・県、市町村、学術研究機関等の広報媒体を活用した施設のPR
- ・遺伝子組換え実験安全委員会の設置、実験の事前審査による適正な実験管理
- ・利用者が適正に実験を行うための標準操作手順書の作成
- ・安全管理規程の作成、実験動物が逸走した場合等の緊急時の対応整備

### (4) 経費削減のための取組

- ・再委託業務の契約における複数年契約、競争入札の実施

## 鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について

平成23年1月21日  
市場開拓課

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の最近の状況について、報告します。

### 1 アンテナショップ効果事例

アンテナショップ販売商品を首都圏の卸小売業や外食店等に紹介した結果、販路開拓に成果。

<販路開拓・拡大>

【取扱決定】

商談相手	商談状況
自然食品を中心に展開するネット通販会社	4社14商品(かにしゃぶ、松葉がに、牛つくだ煮、らっきょう漬け、しじみなど)の取扱いが決定。
全国の小規模作業所や地域のこだわり商品を中心に展開するネット通販会社	2社3商品(金山寺みそ、らっきょう漬けなど)の取扱いが決定。 6社7商品(竹するめ、ねばりっこフリーズドライなど)について商談中。

【商談継続中の主なもの】

商談相手	商談状況
健康食品を中心に展開するネット通販会社	3社4商品(グランキオイル、金山寺みそなど)について商談中。

### 2 取組状況

<県産品の情報発信>

・テレビ・雑誌等でのアンテナショップの紹介

朝日新聞折込紙「ボンマルシェ」(11/10)、朝日新聞夕刊(11/16)・朝刊(11/17)、HOTERES(12/3号)、BSフジ「We Can☆」(12/10)、日本経済新聞(12/14)、ぴあMOOK「お取り寄せ&ご当地グルメ」、ディスカバー・ジャパン(12月号)、朝日マリオン・マリオンライフ(12月号)、食漫(VOL.20)

・「因幡の白うさぎ」の神話にちなんだ、干支関連商品の販売

・ヨネギーズハンドタオル、県内企業が東京限定で販売中の押し鮭など、話題商品の販売

<催事による情報発信>

【店頭催事】

○12月

・原木厚肉しいたけ、王秋梨と梨加工品、シルバーアクセサリー、とうふドーナツ等の豆乳加工品、薬膳そばの試食(展示)販売を実施(5事業者)

○1月(予定)

・魚のウロコが原料のコラーゲンを使用した健康食品等の加工品、紅ズワイガニのむき身(ペースト)、ちりめんじゃこ入りコロケ等の水産加工品、ゆきっこ大根の試食販売を実施(4事業者)

### 3 県産食材PR試食会の開催について(今年度2回目)

県内のすぐれた食材のPR等を目的として、首都圏のレストラン関係者、料理関係雑誌編集者を招いて県産食材を使用したメニューの提案・試食を行う「鳥取県産食材PR試食会」を開催します。(10月24日(日)に引き続き、今年度2回目の開催)

(1) 日時: 2月7日(月) 午後2時~5時

(2) 場所: アンテナショップレストラン(2F)

(3) 招待者: 首都圏のレストラン関係者、料理関係雑誌編集者 50~60名程度

(4) 参加食材: 獣肉(猪肉、鹿肉)、マアジ、サザエ、カジカなどの水産物、にんじん、大根、原木しいたけ、梨などの食材を、県内から7生産者が出席して直接PR

4 運営状況  
 <来客実績>

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業日数	売上高 (千円)		来店客数	営業日数	売上高 (千円)
				うち催事売上高 (千円)			
H20. 8月	2,117名	3日	2,701	73	149名	2日	900
9月	8,404名	30日	10,176	227	2,321名	24日	6,265
10月	5,204名	31日	6,383	100	1,972名	26日	6,441
11月	4,657名	30日	6,244	145	1,943名	24日	7,504
12月	4,646名	30日	7,191	147	2,061名	25日	8,151
H21. 1月	3,653名	28日	4,844	0	1,713名	22日	7,162
2月	4,431名	28日	6,597	114	1,649名	23日	6,846
3月	4,550名	31日	6,093	0	1,689名	25日	6,823
H20. 8. 29~ H21. 3. 31	37,662名	211日	50,229	806	13,497名	171日	50,092
H21. 4月	4,737名	30日	5,837	62	1,731名	25日	5,925
5月	6,309名	31日	7,590	87	1,822名	23日	6,410
6月	6,159名	30日	7,701	212	2,203名	26日	7,489
7月	6,206名	31日	7,700	181	2,092名	26日	7,845
8月	7,483名	31日	8,198	108	2,268名	27日	7,804
9月	7,002名	30日	8,743	209	1,828名	23日	6,191
10月	6,384名	31日	7,623	224	1,865名	26日	6,716
11月	6,523名	30日	9,241	237	1,578名	23日	5,411
12月	6,438名	30日	8,696	281	1,450名	21日	5,270
H22. 1月	5,361名	28日	6,597	122	1,713名	23日	5,526
2月	5,056名	28日	6,756	177	1,609名	22日	5,568
3月	6,229名	31日	8,222	236	1,813名	26日	6,072
H21. 4~H22. 3	73,887名	361日	92,904	2,136	21,972名	291日	75,727
H22. 4月	6,155名	30日	8,357	313	1,671名	25日	5,814
5月	7,136名	31日	8,502	147	1,522名	23日	4,779
6月	6,128名	30日	8,136	308	1,821名	26日	5,697
7月	5,698名	31日	7,025	258	1,713名	26日	5,761
8月	6,095名	31日	7,240	239	1,842名	26日	5,753
9月	5,691名	30日	7,531	337	1,490名	25日	4,878
10月	5,846名	31日	7,795	164	1,520名	26日	4,617
11月	6,034名	30日	8,493	300	1,446名	24日	4,481
H22. 4~H22. 11	48,783名	244日	63,079	2,066	13,025名	201日	41,780
合 計	160,332名	816日	206,212	5,008	48,494名	663日	167,599

<物販店舗の人気商品 (11月)>

順位	品 名	販売価格
1位	生干しほたるいか	525円
2位	とうふちくわ・生	250円
3位	あごちくわ・生	310円
4位	鬼太郎どら焼き	525円
5位	大山ソフトクリーム	380円